

古賀市の中堅・中小企業の皆さまへ

社会に取り残されるな！ビジネスチャンスをつかもう！

「コスト削減」や「脱炭素化」につながる
自社の温室効果ガス排出量を可視化するチャンスです！

補助事業がある今の
おためしがおススメ！



なぜ今、可視化が必要なの？

- 日本では今、すべての人がそれぞれの立場で「脱炭素化」に向けた取組を進めることが必須となっています。特に事業者には原油価格の高騰による影響や、株主、金融機関、消費者からの要望、法規制の強化等により、取り巻く環境の変化が顕著になってきています。
- 電気やガス等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量を把握し、自社の現状を知ることで社会変化に備え、脱炭素をビジネスチャンスとすること、急な要望にも対応できるようリスク管理をしておくこと、限りのある予算の中で、効率的・効果的に省エネ対策や温室効果ガス削減対策を実施していくことが重要です。
- システムを活用することで、自信を持って算定結果を公表できるようになるだけでなく、自社に本当に必要な対策から取り組むことができます。また、これまで算定にかかっていた時間を大幅に削減することもできます。

温室効果ガス排出量可視化システム導入費補助事業

期間：令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

補助事業の概要

● 補助対象事業

サプライチェーン排出量のScope1～3に対応して算定する可視化システムを導入、使用するもの

● 補助対象者・対象期間

令和6年4月1日以降にシステムを導入した、導入する市内の中堅・中小企業の方 (※1社あたり1度限りの助成)

● 対象経費

- ・ 導入に係る初期費用
- ・ システム使用料
- ・ システムの操作方法や算定方法に関しサポートを受ける費用

● 補助率や補助上限額

- ・ 補助率 対象経費の合算額の2分の1
- ・ 上限額 10万円



※本事業の詳細は、上記バーコードからご確認下さい。ご不明点があれば下記担当までご連絡ください。



申請手続き

1 機能等を確認して自社に合うシステムを探します。

導入したいシステムが決まりましたら、見積を業者に依頼して、申請書類を作成してください。

2 補助金申請書や必要資料を提出

- (1) 補助金交付申請書
 - (2) 事業計画書
 - (3) 収支予算書
- ※ 2月以降の申請となる場合は事前にご相談ください。

3 補助金実績報告書と必要書類を提出

- (1) 補助金実績報告書
 - (2) 事業実績書
 - (3) 収支決算書
 - (4) 領収書の写しその他支払を証する書類
- (※令和7年3月中旬頃)

4 市からの額確定通知書を受領後、**令和7年3月31日までに**補助金請求書を提出



お問い合わせ・申請先 古賀市役所 市民部 環境課 担当：大崎・古田
〒811-3192 古賀市駅東1丁目1番1号 / TEL：092-942-1127

古賀市×可視化システム協力事業者 ～可視化システムのご紹介～

その他にも、さまざまなシステムがありますのでインターネットで検索してみてください

会社名	(株)バックキャスト テクノロジー総合研究所	(株)ゼロボード	boost technologies (株)	(株)TBM
システム名	ファストカーボン	GHG排出量可視化クラウドサービス Zeroboard	boost Sustainability Cloud	ScopeX
会社について	設立：2017年 所在地：東京都港区虎ノ門1-2-20	設立：2021年 所在地：東京都港区三田3-5-27	設立：2015年 所在地：東京都品川区大崎1-6-4	設立：2011年 所在地：東京都千代田区有楽町1-2-2
システムの特徴 ※プランにより対応できる範囲は異なります。	<ul style="list-style-type: none"> ①Scope1～3の算定に対応 ②ISO14064-3*の妥当性を確認済 ③専門知識なしでも操作可能 ④会計データだけの算定も可能 その場合データ収集作業も不要 ⑤算定2回目からは劇的に省力可 即座の算定をいつでも何度でも ⑥どの事業活動によるCO2排出が多いのかを分析できる機能あり 	<ul style="list-style-type: none"> ①Scope1～3の算定に対応 ②ISO14064-3*の妥当性の確認済 ③各法令の報告様式の出力が可能 ④CSV取込、OCR等多彩な入力方法 ⑤AIチャットによる算定サポート ⑥分析・ダッシュボード機能 ⑤算定結果の分析機能 ⑥コスト対効果のシュミュレーション機能あり 	<ul style="list-style-type: none"> ①Scope1～3の算定に対応 ②IS014064-3*の妥当性の確認済 ③各種CSVデータの取り込み機能 ④活動量のAI-OCR機能 ⑤各Scopeのカテゴリの自動仕分け機能あり(特許取得) ⑥システム内での削減目標設定や管理、実績の予実管理機能あり 	<ul style="list-style-type: none"> ①Scope1～3の算定に対応 ②専門知識なしでも操作可能 ③会計データだけの算定も可能 ④登録原単位は次月も反映されるため再登録が不要 ⑤原単位レベルでの排出量割合などの分析が可能 ⑥ユーザー登録に権限設定機能あり
導入対応の方法	現地・オンライン対応可能	オンライン対応可能	オンライン対応可能	現地・オンライン対応可
その他の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・算定作業のフルサポート可能 ・中小企業版SBT認定取得支援 ・対外発信用レポート作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化のコンサルティング ・ユーザーコミュニティの運営 ・削減ソリューションの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等の報告書作成サポート ・Scope3算定コンサルティング ・会員向けセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・算定作業を0からすべて請負 ・中小企業版SBT認定取得支援 ・削減の目標設定と施策提案
導入費用等	年額10万円(月額8,133円相当)～ 初期費用なし ※プランにより価格が異なります	月額20,000円～(年払いのみ) 初期費用別途(年額24000円～) ※プランにより価格が異なります	月額19,800円～ 初期費用49,800円～ ※プランにより価格が異なります	Scope1・2 年額60,000円～ Scope1・3 年額240,000円～ 初期費用 5万円～ ※プランにより価格が異なります
問い合わせ先 二次元 バーコード	 https://fast-carbon.com/dis-tr/dsj/	 https://zeroboard.jp/contact/	 https://boost-tech.com/contact-act	 https://scopex.tbm.com/

※ 上記の可視化システム事業者は一例です。他の事業者のシステムを導入した場合でも、補助金の交付対象となります。(ただし、温室効果ガス(GHG)プロトコルに基づいて温室効果ガス排出量が算定できる国際的なガイドラインに合致していること、Scope1～3に対応していることが必要です)